

小松精練 製品染色 (Garment Dying) のグローバル展開  
(伊) ティントリア・エミリアーナ社との提携について

1. 小松精練は、このほど欧州でトップクラスの製品染色メーカーであり、かつ世界的アパレルメーカー"スポーツ・ウエア・カンパニー社 (C. P. Company, STONE ISLANDなどのブランドで世界展開)"の製品染色を一手に引き受けている「ティントリア・エミリアーナ社 (伊)」と小松精練素材を使用した製品染色用ガーメントの染色加工において、提携を締結いたしました。なお、提携の要旨は下記の通りであります。

①ティントリア・エミリアーナ社は保有する製品染色技術やノウハウを小松精練に供与する ②小松精練は保有するポリエステル、ナイロンやフィルムファブリック等の布帛染色技術をティントリア・エミリアーナ社に供与する。 ③共同で最適製品染色用基布の開発を行う。 ④両者によって新染色技術開発を行うと共に製品染色の活用と ⑤欧・日・米を中心に新規製品染色の市場開拓を行う。

この提携によって、小松精練は世界展開を図る欧州のスポーツ・ウエア・カンパニー社 (所有するブランドとしてC. P. Company, STONE ISLAND) をはじめとする有カアパレルメーカーへ、ポリエステル、ナイロンやフィルムファブリックの製品染色用素材の販売を行うと同時にティントリア・エミリアーナ社の技術力及び生産力を組み込んだ企画提案を行うことを可能とし、一方、ティントリア・エミリアーナ社は、小松精練素材を使用した製品染色を介し、取扱い素材の拡充により業容の更なる拡大を可能とするものである。

## 2. 製品染色の背景について

(1) 近年、製品染色の市場はすさまじく早いテンポで拡大しており、今後も拡大が続くものと思われる (特に、欧州の伸びは著しい)

その理由は

① 繊維の全く新しいジャンルが作り出される

"最高の品質のものを世界に出していこうと考えたら、製品染色にたどり着いた"  
スポーツ・ウエア・カンパニー社 社長 CARLO RIVETTI 氏も語られている

② ガーメント分野の多品種、少量生産に寄与する

ガーメントのデザインの多様性を高め、布帛のカラーミニマムの縮小と多色展開を可能とし消費者の個別ニーズに対応する有力な手法である故

③ クイック・レスポンスと製品の売り逃し対策ができる

④ ガーメントビジネスのリスクを減少する

(2) 取扱い素材傾向

① 化繊、天然繊維—特に綿—は染色技術の容易性から、現時点、製品染色の大勢を占めている

② しかし、競争激化から合繊、特にポリエステル、ナイロンやフィルムファブリックのニーズが高まっているものの、染色技術の難しさからニーズへの対応が遅れている

③ 特に製品染色用ポリエステル、ナイロン布帛は質の高さ及びバリエーションの豊かさから、日本産のニーズは高いが、本格的に取組む製品染色メーカーが少なかった故に、世界的に見て普及のテンポは鈍かった

## 3. 小松精練の実績について

ポリエステル及びナイロンやフィルムファブリックについて、製品染色の普及、拡大によって市場拡大をはかるため、2004年初めより国内外の事業テーマの一つとして推し進めてきた。

①日本においては、自社にて製品染色用染色機「染料役者」の開発と増設により、市場創造に挑戦  
現在3000着/月の能力を有する。実績は2004年4-8実績 1.4万着 (約3万m)

年内に2機増設、05年3月より生産開始。7,000~15,000着/月へ増産可能 (布地換算約2.5万m/年)

②海外、特に製品染色製品の普及度の高い欧州においては、先行する欧州有力染色メーカーとの連携を不可欠な課題として、パートナーの探索をはかってきた。

小松精練はこの課題解決が、新しい日本素材市場の開拓に繋がるという考え方のもと、輸出特に欧州向け素材企画及びテストマーケティングを進めてきた。

③欧州市場においては、テストマーケティングをイタリアに絞り、行ってきた。4-9月の実績は2万m。イタリアにおいては世界的に著名なアパレルメーカー数社に採用され、高い評価を得、欧州市場の潜在ニーズを確信することができた。しかし、一部を除いて欧州内の合繊染色技術の未熟さによる導入の支障があったため、提携先の探索を続けてきた。

④当初より最良の提携候補者と考えていた、ティントリア・エミリアーナ社とこの程提携に至った。

#### 4. ティントリア・エミリアーナ社の概要

以上の背景により、小松精練はこのほど下記の染色メーカーと表記の契約を締結した。

##### ティントリア・エミリアーナ社

- ・住所 イタリア モデナ州 モデナ市
- ・社長 Lodi Stefano (ロディ・ステファノ) 氏
- ・創業 1935年
- ・資本金 20万ユーロ
- ・社員 110名
- ・グループ企業 染色(製品染色、製品洗、及び特殊加工)、物流、検品業など 3社

1. 生産能力 現在 製品染色 120万着/年  
製品洗 140万着/年  
10月より 製品染色能力 20万着/年 増予定

#### 5. 小松精練の対欧州向け、製品染色専用素材の販売計画

- ①2004年度 5万m - 0.5億円 (2.5万着)  
2005年度 15万m - 1.5億円 (7.5万着)  
2006年度 40万m - 4.0億円 (20万着)

#### ②用途 ブラウス、ドレス、ジャケット、パンツ、コート等

因みに国内市場向については

- 2004年度 (5万m) 2.5万着 1.8億円  
2005年度 (10万m) 5万着 3.5億円  
2006年度 (26万m) 13万着 10億円

以上が販売計画である

#### 6. 今後の展望について

当提携により、小松精練とティントリア・エミリアーナ社は強い補完関係を持つことになる。今後、両者が交流し技術やノウハウを共有することによって、ポリエステル、ナイロン、フィルムファブリック等、合繊を用いた製品染色(製品)は、より完成度の高い製品を欧州市場に供給することが可能となると共に、米国市場、日本市場への影響も少なくないと、判断している。

小松精練は当企画により、日本製素材の新用途開発と販路拡大に貢献しうるものと確信いたしております。

